

脳内出血に対する内視鏡下血腫除去術の治療成績

2022年1月から2025年12月までの間に当院で脳内出血に対して 入院治療を受けた患者さま

研究協力をお願い

この研究は、2022年1月から2025年12月の間に当院で脳内出血に対して入院治療を受けた方を調査する研究で、脳内出血に対する内視鏡下血腫除去術の治療成績、術前検討方法、適切な麻酔方法、周術期管理について調べることを目的とした研究です。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脳内出血に対する内視鏡下血腫除去術の治療成績

研究期間：2025年2月10日～2025年12月31日

研究責任者：寺岡記念病院 脳神経外科 土屋貴裕

(2) 研究の意義、目的について

本研究の意義：

脳内出血は脳卒中の1つであり、血腫が脳を強く圧排している場合には救命／神経学的予後改善目的に緊急での手術が必要となります。従来は開頭血腫除去術が唯一の治療方法でしたが、近年内視鏡技術の発展により、小開頭による内視鏡下血腫除去術の有用性が報告されています。特に高齢者では全身麻酔による手術はリスクが高く、より低侵襲な内視鏡下血腫除去術は有用である可能性があります。これまでに高齢者の脳内出血に対する局所麻酔での内視鏡下血腫除去術に関する報告は限られており、適切な術前検討、麻酔方法、周術期管理に関して定まったものではありません。本研究は当院における脳内出血に対する内視鏡下血腫除去術の治療成績を検討し、脳内出血に対する適切な治療方法を検討することを目的としています。

目的：

- 1) 脳内出血に対する内視鏡下血腫除去術における術前検討方法、適切な麻酔方法、周術期管理について明らかにすること
- 2) 脳内出血に対する適切な治療方法を検討し、患者さまの治療に還元すること

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2022年1月から2025年12月までの間に当院で脳内出血に対して内視鏡下血腫除去術を受けた方を対象とします。くも膜下出血や外傷による脳出血は本研究の対象とはなりません。患者情報を電子カルテより集積し、カルテ記載や画像データから以下の情報を収集します。基本属性（BMI、年齢、性別、既往歴、生活習慣など）、発症時および術後のCT検査における血腫の位置や大きさ、入院時の採血データ（白血球数、ナトリウム、クレアチニンなど）、麻酔方法（全身麻酔、局所麻酔など）、手術方法、手術時間、治療後の経過、治療後の日常生活動作、入院中や退院後の全身合併症（心不全、肺炎など）、など。

(4) 個人情報保護について

研究にあたり、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

寺岡記念病院 脳神経外科 土屋貴裕・小池司

〒729-3103 広島県福山市新市町大字新市37番地

電話番号：0847-52-3140（代表）